

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成26年1月10日

【四半期会計期間】 第32期第3四半期(自平成25年9月1日至平成25年11月30日)

【会社名】 ソーバル株式会社

【英訳名】 Sobal Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 推津順一

【本店の所在の場所】 東京都大田区下丸子三丁目25番14号 ソーバルビル

【電話番号】 03-5482-1222(代表)

【事務連絡者氏名】 経理部経理グループ長 岩崎恭治

【最寄りの連絡場所】 東京都大田区下丸子三丁目25番14号 ソーバルビル

【電話番号】 03-5482-1222(代表)

【事務連絡者氏名】 経理部経理グループ長 岩崎恭治

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第31期 第3四半期 連結累計期間	第32期 第3四半期 連結累計期間	第31期
会計期間		自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日	自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日	自 平成24年3月1日 至 平成25年2月28日
売上高	(千円)	4,892,899	4,921,836	6,433,316
経常利益	(千円)	409,698	432,088	464,023
四半期(当期)純利益	(千円)	225,843	247,884	246,955
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	225,843	247,884	246,955
純資産額	(千円)	2,183,707	2,379,060	2,204,894
総資産額	(千円)	2,830,098	3,083,980	2,908,600
1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	51.97	57.02	56.83
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額	(円)	51.90	56.93	56.75
自己資本比率	(%)	77.2	77.1	75.8

回次		第31期 第3四半期 連結会計期間	第32期 第3四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日	自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	16.27	18.18

(注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて、重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### （1）業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の積極的な経済・金融政策に対する期待感から円安・株高局面となり、企業の景況感も緩やかながら回復基調で推移しております。一方世界経済に関しましては、先進国経済に持ち直しの動きが見られたものの勢いは弱く、中国をはじめとするアジア諸国でも、投資の抑制や輸出の減少などにより景気が減速傾向で不安定な状態が続きました。

このような状況のもと、当社グループの属するIT業界におきましては、企業収益の改善に伴う各種案件や新製品の研究及び開発等の引き合いが増加し、顧客からの優秀な技術力に対するニーズが格段と高くなっております。当社グループと致しましては、そのニーズに応えるべく高い技術力と信頼をもとに、引き続き堅調に案件を受注してまいりました。

これらの結果、エンジニアリング事業における売上高は4,843百万円（前年同期比0.2%減）となりました。

一方、その他事業におけるRFID事業に関しましては、電波法改正による各種機器の置換えの進捗が順調に推移するとともに、その他の新規案件でも営業活動を活発に行ったところ、売上高は78百万円（前年同期比96.8%増）となりました。

利益面に関しましては、間接部門の再編を実施し、より効率的な作業を行う事でのコスト低減や、属人的になりがちな作業の見直し等によるリスクの低減、またシステム部門との連携を深めることによる無駄の削減等を推し進めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は4,921百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益は428百万円（前年同期比6.3%増）、経常利益は432百万円（前年同期比5.5%増）、四半期純利益は247百万円（前年同期比9.8%増）となりました。

#### （2）財政状態の分析

##### （資産、負債及び純資産の状況）

当第3四半期連結会計期間末における資産合計額は3,083百万円となり、前連結会計年度末比175百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が222百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が62百万円減少したことによるものであります。負債合計額は704百万円となり、前連結会計年度末比1百万円増加となりました。これは主に、当第3四半期連結会計期間末が休日であったため、支払期日が

翌月になったことの影響等で流動負債その他が201百万円増加したこと、未払法人税等が62百万円減少したこと、賞与引当金が143百万円減少したことによるものであります。

純資産合計額は2,379百万円となり、前連結会計年度末比174百万円増加となりました。これは主に、四半期純利益の計上等に伴い利益剰余金が173百万円増加したことによるものであります。

### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	14,800,000
計	14,800,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年11月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年1月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	4,347,800	4,347,800	東京証券取引所JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	4,347,800	4,347,800	-	-

(注) 提出日現在の発行数には、平成26年1月1日から本四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月1日～ 平成25年11月30日	-	4,347,800	-	212,900	-	117,900

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成25年8月31日現在の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成25年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,346,700	43,467	-
単元未満株式	普通株式 900	-	-
発行済株式総数	4,347,800	-	-
総株主の議決権	-	43,467	-

【自己株式等】

平成25年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
ソーバル株式会社	東京都大田区下丸子三丁目25番14号ソーバルビル	200	-	200	0.00
計	-	200	-	200	0.00

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役副社長 最高執行役員 経理部長	取締役副社長 最高執行役員 経営企画及び新規事業及び本部担当	推津 敦	平成25年10月1日
専務取締役 専務執行役員 人事部長	専務取締役 専務執行役員 システム本部長	河原 浩一	平成25年10月1日
専務取締役 専務執行役員 システム本部長 兼マニュアル編集部長 兼デジタルテクノロジー部長	専務取締役 専務執行役員 システム本部次席本部長 兼マニュアル編集部長 兼デジタルテクノロジー部長	稲葉 勝巳	平成25年10月1日

## 第4 【経理の状況】

### 1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年9月1日から平成25年11月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年3月1日から平成25年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,469,672	1,692,192
受取手形及び売掛金	814,538	751,842
仕掛品	179,772	234,175
原材料	2,028	1,354
その他	154,764	135,387
貸倒引当金	10,159	9,785
流動資産合計	2,610,616	2,805,166
固定資産		
有形固定資産	145,146	138,997
無形固定資産		
のれん	57,333	47,777
その他	8,631	7,616
無形固定資産合計	65,964	55,394
投資その他の資産	86,872	84,421
固定資産合計	297,984	278,813
資産合計	2,908,600	3,083,980
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	983	3,942
未払法人税等	145,553	82,960
賞与引当金	177,373	33,622
受注損失引当金	7,954	-
その他	224,022	425,768
流動負債合計	555,886	546,294
固定負債		
役員退職慰労引当金	147,819	158,625
固定負債合計	147,819	158,625
負債合計	703,706	704,920
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	212,787	212,900
資本剰余金	117,787	117,900
利益剰余金	1,874,416	2,048,397
自己株式	97	137
株主資本合計	2,204,894	2,379,060
純資産合計	2,204,894	2,379,060
負債純資産合計	2,908,600	3,083,980



(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
 【四半期連結損益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	4,892,899	4,921,836
売上原価	3,920,765	3,872,574
売上総利益	972,134	1,049,261
販売費及び一般管理費	569,021	620,554
営業利益	403,112	428,707
営業外収益		
受取利息	238	259
保険配当金	3,164	3,642
その他	3,498	1,942
営業外収益合計	6,900	5,844
営業外費用		
支払利息	-	265
固定資産除却損	199	2,079
その他	115	117
営業外費用合計	315	2,462
経常利益	409,698	432,088
税金等調整前四半期純利益	409,698	432,088
法人税等	183,854	184,204
少数株主損益調整前四半期純利益	225,843	247,884
四半期純利益	225,843	247,884

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	225,843	247,884
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	225,843	247,884
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	225,843	247,884
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【会計方針の変更等】

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 これにより当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)
税金費用の計算	税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。 なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)
減価償却費	13,759千円	9,414千円
のれんの償却額	3,185千円	9,555千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年11月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月22日 定時株主総会	普通株式	34,758	8.00	平成24年2月29日	平成24年5月23日	利益剰余金
平成24年9月27日 取締役会	普通株式	34,774	8.00	平成24年8月31日	平成24年11月12日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月28日 定時株主総会	普通株式	39,122	9.00	平成25年2月28日	平成25年5月29日	利益剰余金
平成25年9月30日 取締役会	普通株式	34,780	8.00	平成25年8月31日	平成25年11月11日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年11月30日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

当社グループはエンジニアリング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	51円97銭	57円02銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	225,843	247,884
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	225,843	247,884
普通株式の期中平均株式数(株)	4,345,533	4,347,168
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	51円90銭	56円93銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
(うち、支払利息(税額相当額控除後))	(-)	(-)
普通株式増加数(株)	6,222	7,373
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

2 【その他】

第32期(平成25年3月1日から平成26年2月28日まで)中間配当については、平成25年9月30日開催の取締役会において、平成25年8月31日の最終の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、次の通り中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	34,780千円
1株当たりの金額	8.00円
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	平成25年11月11日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 1月10日

ソーバル株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 笛 木 忠 男 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 大 立 目 克 哉 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているソーバル株式会社の平成25年3月1日から平成26年2月28日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年9月1日から平成25年11月30日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年3月1日から平成25年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ソーバル株式会社及び連結子会社の平成25年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。